

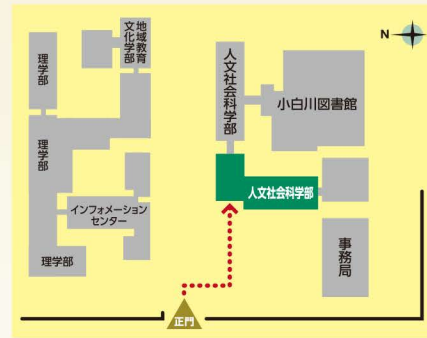


募集人員 一般市民・大学生・高校生 30名
募集期間 平成29年5月9日(火)～5月31日(水)
受講料 2,000円(大学生・高校生は無料)
お申し込み方法

下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。
通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文社会科学部事務室
TEL : 023-628-4203 E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場案内 山形大学人文社会科学部 1号館2階205教室
大学正門を入れて正面の建物です。
受付は人文社会科学部玄関にて行います。



その他 【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。
公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。

シャトルバス運行時刻表

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/etc/bus> 参照

なお、山形駅行き最終便は18:40発となっております。
また、山交バス県庁前→山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、
山形～仙台間高速・都市間バス山形駅行き最終便は、南高前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



都市と社会

歴史・景観・表象

第1回 6/5 中世都市鎌倉への旅
-タイムマシン松尾号に乗って
教授(人文社会科学部主担当) 松尾 剛次

第2回 6/12 隋唐の長安から北宋の開封へ
-東アジアにおける「都城」の変容
教授(人文社会科学部主担当) 新宮 学

第3回 6/15 ヨーロッパ中世都市に生きる芸術
-ヒトラーが愛した町ニュルンベルクを例として
山形大学名誉教授 元木 幸一

第4回 6/19 インカ帝国とチムー王国
-古代アンデス文明の都市景観と社会
教授(人文社会科学部主担当) 坂井 正人

第5回 6/22 モンゴル遊牧民と都市
-カラコルムからウランバートルへ
准教授(人文社会科学部主担当) 中村 篤志

平成29年 6月5日(月)～22日(木)
講義時間/毎回 午後6時30分～午後8時10分【計5回】

【場 所】 山形大学人文社会科学部1号館2階205教室

【対 象】 一般市民・大学生・高校生 定員30名

【受講料】 一般 2,000円 **大学生・高校生 無料**

【募集期間】 平成29年5月9日(火)～5月31日(水)

〈お問い合わせ先〉 山形大学人文社会科学部事務室
電話 : 023-628-4203
E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

都市と社会

歴史・景観・表象

講座の概要

700万年に亘る人類史の中で、人間がある場所に集中し都市が形成されるという現象は、特定の地域に「文明」が出現するための一つの大きな条件でした。歴史上都市は、常に政治・経済・文化の中心であり、社会の盛衰と密接にかかわってきたのです。古代から現代にいたる文明の発生と展開において、人間社会の営みを、都市という単位を抜きにして理解することは不可能であるといえるでしょう。しかし一方で、都市の歴史的重要性、そのあり方の多様性は一つの時代、場所、学問分野だけでとらえられるものではありません。山形大学人文社会科学部では、都市をテーマとして国際的な研究を行っている教員が数多く教鞭をとっており、都市・地域学研究所がアクティブに活動しています。そこで本講座では、「都市と社会」という広いテーマを設定し、様々な地域、時代の都市を、歴史学、人類学、美術史学という異なる分野からアプローチします。最先端の研究を通じて、人間が造り上げてきた「都市」の多様性について考えてみたいと思います。

第4回
6/19日

インカ帝国とチムー王国ー古代アンデス文明の都市景観と社会

教授(人文社会科学部) 坂井 正人



この講座では現地調査でのエピソードを交えながら、(1) 16世紀にスペイン人によって征服された「インカ帝国の首都クスコ」、(2) スペイン征服後、アマゾン地帯に逃れたインカ皇帝が創設した「新都ビルカバンバ」、(3) インカ帝国によって滅ぼされたペルー北海岸の「チムー王都チャンチャン」についてお話します。これらの3つの都市には、王家に関する神話や儀礼が都市景観に体系的に刻み込まれています。都市景観を利用することで、王国がどのように運営されていたのかについて考えてみたいと思います。



インカ帝国の太陽神殿コリカンチャ

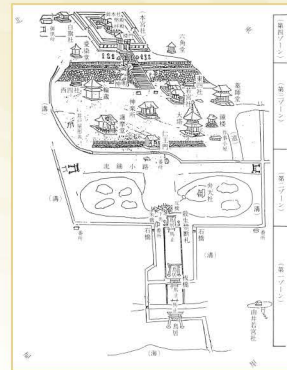
第1回
6/5日

中世都市鎌倉への旅ータイムマシン松尾号に乗って

教授(人文社会科学部) 松尾 剛次



本講演では、日本の中世都市を代表する都市鎌倉についてお話します。中世というのは、便宜的に12~16世紀を指しています。鎌倉といえば現在では古都鎌倉として観光都市として大人気なところですが、1180年に源頼朝が鎌倉に根拠地を置いて以来、鎌倉は武家政権の拠点として発展を遂げていました。ここでは、文献の分析のみならず、発掘の成果までも使って、都市鎌倉の見所をお話しますが、皆さんが鎌倉を旅する際に参考になる話をしたいと考えています。たとえば、鎌倉大仏は、木造大仏と金銅大仏の2つ制作されたといった皆さんが知らないような話です。



享保十七年鶴岡八幡宮境内図

第5回
6/22日

モンゴル遊牧民と都市ーカラコルムからウランバートルへ

准教授(人文社会科学部) 中村 篤志



「遊牧民と都市」一見すると結びつかない両者ですが、実は、モンゴル高原に勃興した歴代の遊牧国家は、多くの定住集落や都市を造っていました。遊牧民はなぜ都市を造り、都市では誰がどのように暮らしていたのでしょうか？匈奴の時代に始まり、モンゴル帝国の首都カラコルム、そして現在のウランバートルへと続く都市形成の歴史を、現地調査の成果を交えながら通覧し、遊牧民と都市との関係性、さらには人間にとって「都市」とは何であるのかを考えてみたいと思います。



カラコルムの地に建つエルデニ・ゾー寺院

第2回
6/12日

隋唐の長安から北宋の開封へー東アジアにおける「都城」の変容

教授(人文社会科学部) 新宮 学



20世紀は急激な都市化の時代でした。現代では、世界の人口の半数が農村ではなく都市(city)に住んでいます。日本の都市人口割合はすでに90%を超え、都市に暮らすことはもはや当たり前になっています。私たちは、都市にふさわしい社会生活と豊かな文化を手に入れているのでしょうか。近代日本では、都市は外来のものでした。古代にあっても、都の造営は中国都城の受容から始まりました。中国の都城の特質とその歴史の変容を、〈市制〉と〈坊制〉を手がかりにしてたどり、都市に暮らすことについてあらためて考えてみます。



復元された長安城大明宮丹鳳門

第3回
6/15日

ヨーロッパ中世都市に生きる芸術ーヒトラーが愛した町ニュルンベルクを例として

山形大学名誉教授 元木 幸一



ニュルンベルクはドイツ・ルネサンス美術が開花した都市です。1500年頃には、画家デューラー、木彫家ファイト・シュトース、石彫家アダム・クラフト、ブロンズ製造家ペーター・フィッシャーなど各分野でドイツの職人が集まっていました。しかし彼らは、今日のように美術館に並べるために作ったわけではありません。彼らの「芸術品」は都市の中で具体的に働いていたのです。例えばペスト対策としての彫刻、養老院のための絵画等々。「芸術品」の生き方をスライドを見ながら探究しましょう。



デューラー《ニュルンベルク景観》水彩画

02		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号						金額	
022607		92478		千 百 十 万 千 百 十 円		2 0 0 0	
加入者名 国立大学法人山形大学				料金		備考	
通 信 欄 ※「都市と社会：歴史・景観・表象」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文社会科学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ※払い込み済みの受講料は返金できませんのでご注意ください。 ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー様のご案内を本学からお送りする場合がございます。□ 承諾する □ 承諾しない (いずれかをチェック願います)							
おとこ (郵便番号)				おなまえ		日 附 印	
ご依頼人				様		日 附 印	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)				これより下部には何も記入しないでください。			

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	022607	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	国立大学法人山形大学	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 2 0 0 0	
おなまえ	様	
ご依頼人	様	
料 金	日 附 印	
備 考		